



# 令和2年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年8月9日

上場会社名 東洋刃物株式会社  
コード番号 5964 URL <http://www.toyoknife.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 芳彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 久保 雅義

TEL 022-358-8911

四半期報告書提出予定日 令和元年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第1四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第1四半期	1,298	10.5	76	43.4	60	45.1	23	70.3
31年3月期第1四半期	1,450	19.7	135	310.8	111	369.2	80	

(注) 包括利益 2年3月期第1四半期 21百万円 (57.9%) 31年3月期第1四半期 50百万円 (383.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第1四半期	14.79	
31年3月期第1四半期	52.31	44.99

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2年3月期第1四半期	6,718	1,778	26.4	1,238.73
31年3月期	7,372	2,375	32.2	1,301.23

(参考) 自己資本 2年3月期第1四半期 1,776百万円 31年3月期 2,372百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期		0.00		20.00	20.00
2年3月期					
2年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	5.0	160	38.1	130	41.6	110	50.8	71.66
通期	5,500	3.4	320	24.2	280	20.6	230	59.6	148.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期1Q	1,865,900 株	31年3月期	1,865,900 株
期末自己株式数	2年3月期1Q	431,969 株	31年3月期	42,533 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期1Q	1,613,608 株	31年3月期1Q	1,534,960 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P3
(1) 四半期連結貸借対照表	P3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P7
(継続企業の前提に関する注記)	P7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P7
(セグメント情報等)	P7
(重要な後発事象)	P8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦による影響が顕在化するなか、製造業を中心に企業収益への下押し圧力により、設備投資も含め雇用や所得情勢、個人消費についても先行きの不透明感が増大しております。海外経済は、堅調な個人消費を背景に底堅く推移している米国に対し、中国の成長は鈍化しており、米中の貿易摩擦の長期化懸念によるアジア圏への波及や、英国のEU離脱問題によるユーロ圏の停滞など、総じて減退傾向と言える状況にあります。

当社グループにおきましては、重点施策として高付加価値、高精度精密製品への取り組みを主とした事業ポートフォリオの再構築および展開、仕入れの強化、短納期・少量多品種を強みとする生産体制の構築、資本政策と財務基盤の強化を掲げ取り組みを継続しておりますが、製紙パルプ用刃物は堅調に推移したものの、世界経済の停滞基調により特に産業用機械及び部品の受注が減少し、IT関連の需要減により主力の情報産業用刃物も鈍化いたしました。緑化造園は管理業務を主に伸ばいたしました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は12億98百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。損益面におきましては、生産性向上のための設備投資による減価償却費増に加え、諸資材の値上がりや主力製品の鈍化が損益にも影響し、営業利益76百万円（前年同四半期比43.4%減）、経常利益60百万円（前年同四半期比45.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益23百万円（前年同四半期比70.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ア) 機械刃物及び機械・部品

当セグメントにおきましては、製紙パルプ用刃物やその他の刃物関連は堅調に推移したものの、産業用機械及び部品の調整局面にともなう需要減や主力の情報産業用刃物のIT関連の需要減による鈍化が影響し、売上高11億59百万円（前年同四半期比13.3%減）、セグメント利益1億37百万円（前年同四半期比36.3%減）となりました。

## イ) 緑化造園

当セグメントにおきましては、管理業務は継続して堅調であり、中規模案件の造園工事を効率的に進められたことや、土木工事も入ったことにより、売上高1億38百万円（前年同四半期比21.4%増）となり、セグメント利益は19百万円（前年同四半期比51.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11.4%減少し、45億86百万円となりました。これは主として現金及び預金の減少などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、21億31百万円となりました。これは主として繰延税金資産などの投資その他の資産が減少したことによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて8.9%減少し、67億18百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.8%減少し、32億65百万円となりました。これは主として流動負債のその他に含まれる設備支払手形の増加および未払法人税等の減少などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、16億73百万円となりました。これは主として長期借入金の減少などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.2%減少し、49億39百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて25.1%減少し、17億78百万円となりました。これは主として自己株式取得による株主資本減少などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和元年5月10日発表の業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,524	1,995
受取手形及び売掛金	1,241	1,167
電子記録債権	549	520
製品	225	233
仕掛品	326	347
原材料及び貯蔵品	294	308
その他	19	15
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	5,177	4,586
固定資産		
有形固定資産	1,646	1,626
無形固定資産	26	25
投資その他の資産		
投資その他の資産	534	490
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	522	479
固定資産合計	2,195	2,131
資産合計	7,372	6,718
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	684	690
短期借入金	1,697	1,697
未払法人税等	103	20
賞与引当金	128	57
その他	678	800
流動負債合計	3,292	3,265
固定負債		
長期借入金	650	625
退職給付に係る負債	1,029	1,023
役員退職慰労引当金	21	21
その他	3	3
固定負債合計	1,704	1,673
負債合計	4,997	4,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和元年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	700	700
資本剰余金	354	354
利益剰余金	1,542	1,529
自己株式	△31	△612
株主資本合計	2,565	1,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25	18
為替換算調整勘定	8	6
退職給付に係る調整累計額	△226	△220
その他の包括利益累計額合計	△192	△195
非支配株主持分	2	2
純資産合計	2,375	1,778
負債純資産合計	7,372	6,718

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
売上高	1,450	1,298
売上原価	1,013	948
売上総利益	437	349
販売費及び一般管理費	302	272
営業利益	135	76
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
固定資産賃貸収入	3	3
その他	3	1
営業外収益合計	9	6
営業外費用		
支払利息	11	8
持分法による投資損失	4	8
製造休止損失	8	-
その他	9	5
営業外費用合計	33	22
経常利益	111	60
税金等調整前四半期純利益	111	60
法人税、住民税及び事業税	14	9
法人税等調整額	15	27
法人税等合計	30	36
四半期純利益	80	24
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	80	23

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年6月30日)
四半期純利益	80	24
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△6
為替換算調整勘定	△5	-
退職給付に係る調整額	3	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	△2
その他の包括利益合計	△29	△2
四半期包括利益	50	21
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50	21
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、令和元年5月10日開催の取締役会において、会社法第459条第1項の規定による定款の定めに基づき、自己株式を取得することを決議し、当社株式389,300株を取得しました。この結果、自己株式が580百万円増加しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,336	114	1,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,336	114	1,450
セグメント利益	215	12	228

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	228
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△93
四半期連結損益計算書の営業利益	135

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成31年4月1日至令和元年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,159	138	1,298
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,159	138	1,298
セグメント利益	137	19	156

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	156
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△80
四半期連結損益計算書の営業利益	76

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。